

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類				詳細点検
事務事業名	里山みどりの保全事業				シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	建設	局	公園緑地	部	公園緑地整備	課 評価責任者(課長名)
						19-102
						三好

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	6	良好な居住環境の形成	有
	2	事業開始年度	令和元年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市緑地法 堺市緑の保全と創出に関する条例			
	4	関連計画	緑の基本計画、都市計画マスタープラン、生物多様性堺戦略、環境モデル都市、南区まちづくりビジョン			
5	事業実施の経緯	高度経済成長期に郊外部や丘陵部において、泉北ニュータウン開発を始めとする開発事業により、都市化が進み市内の緑地は大幅に減少した。市では、平成21年1月に環境モデル都市として認定を受け、環境共生都市の実現をめざすため、平成22年6月に緑の保全と創出に関する市の考え方と具体的な施策の枠組みを示す堺市緑の保全と創出に関する条例を制定し、市内に残された緑地を保全し、次代に継承することとしている。令和元年度から南部丘陵における緑地保全業務とまちなか緑保存事業を里山みどりの保全事業に再編・統合。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民、各種団体、事業者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	・持続可能な里地里山環境を育み、次代に継承するため、樹林地や農地、ため池などが一体となった緑豊かな自然環境の保全・活用により、南部丘陵エリアの緑を育む。 ・健全な環境の保持及び向上を図る必要があると認める樹木・樹林を保存樹木として指定する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・プロモーション企画・実施…緑地の維持管理や活用等、緑地保全への市民・企業等の参画を図るためのプロモーション活動「堺の森再生プロジェクト」(H27年度～)を実施するとともに、南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信する。 ・保全緑地等の確保…緑地保全制度に基づく特別緑地保全地区制度や市民緑地制度、条例に基づく保全緑地制度等の総合的な運用を図り南部丘陵の緑地を確保。 ・保全緑地等の維持管理…工場立地法に係る敷地外緑地制度や緑地保全制度等を活用した南部丘陵の緑地の維持管理と継続保有への支援を実施。 ・保存樹木支援業務…標柱・表示板設置、樹木医による調査・診断・剪定指導等 ・緑の保全基金…緑地の保全に必要な財源の確保			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
		業務の受託者				

Ⅲ. 投入量

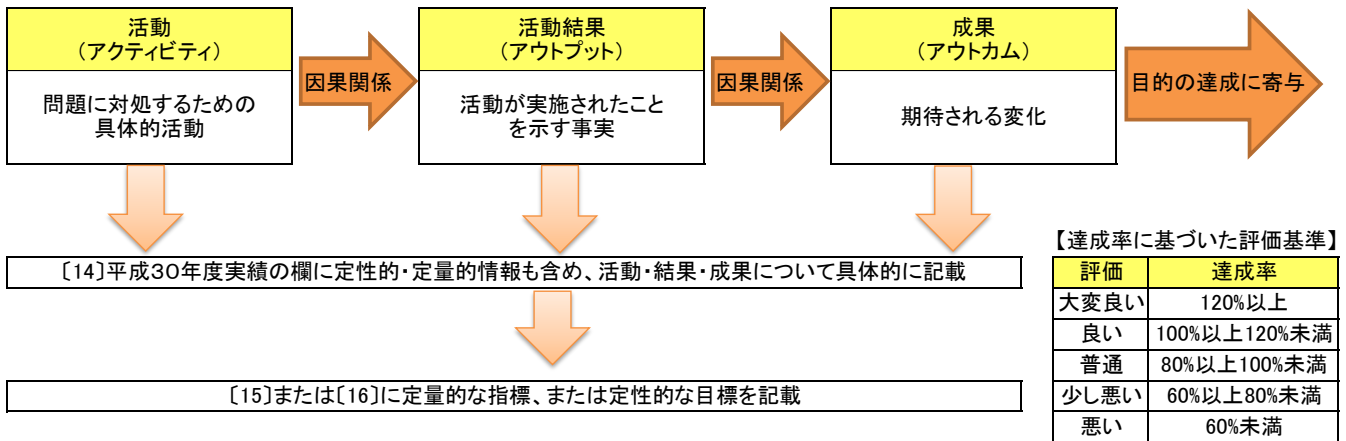
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	2,768	3,455	4,881	6,782	
主な事業費内訳	緑地保全推進策の検討・普及啓発費	千円	1,549	1,561	2,725	2,000
	維持管理等	千円	34	40	72	1,355
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他(緑地保全基金等)	千円	787	763	1,762	3,100
一般財源	千円	1,981	2,692	3,119	3,682	
12 人件費 (b)	千円	9,190	9,190	9,190	9,080	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	11,958	12,645	14,071	15,862	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	里山みどりの保全事業	シート番号	19-102
-------	------------	-------	--------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロモーション企画・実施…緑地の維持管理や活用等、緑地保全への市民・企業等の参画を図るためのプロモーション活動「塚の森再生プロジェクト」の募集を行い市民、企業合わせて目標人数を達成した。</li> <li>・保全緑地等の維持管理…工場立地法に係る敷地外緑地制度による株式会社クボタ塚製造所の緑地及び民有地である保全緑地の適正な維持管理と継続保有への支援を実施。</li> <li>・保全緑地等の確保…南部丘陵において都市緑地法に基づく特別緑地保全地区制度の指定について手続きを進めた。</li> <li>・緑の保全基金…緑地の保全に必要な財源、塚市緑の保全基金1,746,414円の寄附を得た。</li> <li>・保存樹木支援業務において、台風21号による被害も相まって13件の相談に対応し調査指導を行い保存への協力を得た。</li> </ul>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	緑地保全への参画団体数	目標値	団体	4	5	6	7
		実績値		4	4	6	
		達成率		100%	80%	100%	
		評価		良い	普通	良い	
	算出方法・設定根拠など		市民団体、企業等への呼びかけにより里山みどり保全事業に賛同し寄与した団体数(維持管理活動、寄附等)				
	16	目標					
	保存樹木支援業務						
		目標に対する実績	保存樹木163本及び保存樹林12か所の保存を推進するため、所有者と維持保全について相談を受け、助言を行った。				

#### 業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	塚市緑の保全と創出に関する条例に基づく、保全緑地の候補地の選出を行った。 保全緑地の指定を行った樹林地において、南部丘陵のプロモーション活動の取組として、市民、企業等(3者)及び行政の協働による里山みどりの保全活動である「塚の森再生プロジェクト」を昨年度に引き続き実施し、多数の参加者と、企画に対する高い満足度を得た。 更なる企業参画を模索するため平成26年度から運用を開始し、平成27年度に1社と協定を締結した敷地外緑地は、適正に管理運営を行った。 民有地にある民間所有の古樹名木について引き続き保存していくために所有者の協力を得て良好に維持していくために適切なアドバイスが行えるよう対応していく。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。